

# 平成25年度 南仏安全対策連絡協議会

平成26年 1月31日（金）

於 在マルセイユ総領事公邸

<進行：森本首席領事>

1. 総領事挨拶 （佐藤総領事）

2. 当地治安情勢等についての説明 （菊池領事）

（1）緊急事態に向けての当館取り組みと、皆様へのお願い

（2）一般犯罪発生状況及び事例検討

3. 出席者の皆様からの情報提供 （在留邦人の皆様）

身の回りで起きた被害事例や皆様が日頃から心掛けておられる防犯上の工夫等、注意喚起のためこの場で是非共有させて下さい

4. 質疑応答 （菊池領事）

5. 意見交換・歓談

※ 本日この協議会で話題に上った事柄のうち在留邦人全体で共有すべき情報につきましては、情報提供者及び被害者個人が特定されない範囲で取りまとめ、当館HPに掲載させて頂きますことを予めご了承下さい。

## 南仏在留邦人の皆様へ

＜緊急事態に向けての当館取り組みと、皆様へのお願い＞

在マルセイユ日本国総領事館

### 1. 在留邦人が巻き込まれた、最近の海外重大事件等

#### (1) アルジェリア人質事件

昨年1月16日にイナメナスで発生した本事件では、8カ国37名、日本人技術者10名の尊い命が奪われる事態となりました。

本事件の教訓として、日本政府・外務省により以下のような対策が執られることとなりました。

- ・在外邦人等輸送に関する自衛隊法の改正（昨年11月22日施行）
- ・地域専門家らによる海外緊急展開チームの編成
- ・国際テロリズム緊急展開班の派遣体制の強化
- ・防衛駐在官の新規派遣等、専門家拡充による情報収集・分析の体制強化

#### (2) フィリピン台風被害

昨年11月8日フィリピンに上陸した台風により、大勢の方が犠牲となりました。レイテ島・サマル島に住む在留邦人133名の安否確認作業は難航し、同月30日に最後の1名と連絡がつき全員の無事を確認しました。

この災害では、電話やメールなどの手段が使えない状態での安否確認等の困難さ、そして在留届記載の邦人基本情報の重要性を再認識させられることとなりました。

### 2. 当館の取り組み

南仏においても、テロや自然災害が起こり得るリスクとして挙げられますが、これらは現時点で明示的脅威には至っておりません。他方、こういった事象は前兆なく突如発生する可能性が高いため、日頃からの入念な準備が必要と考えます。

当館では、いつ何時緊急事態が発生しても邦人援護のため即時対応できるよう、以下に重点を置いて業務を推進して参ります。

- ・治安に関する情報の収集・分析
- ・在留邦人情報の把握と更新（安否確認時に必須）
- ・日系企業、邦人団体との連携強化

### 3. 在留邦人の皆様へのお願い事項

上記2.にて在留邦人の皆様の安全対策に関する当館取り組みをご説明しましたが、この取り組みは皆様のご協力なしには達成できません。本趣旨をご理解の上、特に以下事項につきご協力頂きますよう、よろしくお願ひします。

- ・在留届情報の更新（特に住所、電話番号、メールアドレス）
- ・メールマガジン登録
- ・治安関連情報（噂や「兆し」でも結構です）入手の際の、当館への情報提供（当館にて、頂戴した情報の真偽及び詳細につき確認作業を行います）

＜在マルセイユ日本国総領事館の連絡先＞

メール：[cgm8@my.mofa.go.jp](mailto:cgm8@my.mofa.go.jp)

電話：04 91 16 81 81

（受付時間 9：00～12：30、13：45～17：00）

※受付時間外の場合でも、緊急連絡事項がございましたら当館電話番号までご連絡願ひます（委託会社経由で領事担当官が当該事態を把握します）。

## 南仏発生、邦人の犯罪被害例（平成25年中）

### 1. はじめに

どんなに用心していても、犯罪被害を完全に防ぐ術はありません。観光地の泥棒は手慣れているので尚更です。残念ながら被害に遭ってしまった場合は、自分を責めることなく被害の悪化を防ぐべく直ちに次善策を講じましょう。

### 2. 邦人被害例

#### (1) 6月アルル郊外発生、「ゴッホの跳ね橋」での強盗被害

被害者：邦人旅行者2夫婦

状況：昼頃、「ゴッホの跳ね橋」観光にやって来た邦人2カップルがけん銃と刃物を持った男3名（うち1名は運転担当）に脅され、持ち物を全て奪われた。犯人の去り際に被害者の1名が犯人を追いかけたところ、けん銃で頭を殴られて負傷した。なお、この犯人は7月に逮捕済。

対策：

- ・けん銃を突きつけられる等逃げるのが困難な場合、財物は放棄する他ありません。決して抵抗しないで下さい。命を守ることが最優先です。
- ・可能であれば、犯人の特徴や使用車両など事後捜査に役立つ情報をよく覚えておいて下さい。

#### (2) 12月マルセイユ発生、旧港周辺でのひったくり被害

被害者：在留邦人女性

状況：朝方6時半ころ旧港付近の歩道を歩いていたところ、後ろから近づいてきた男に現金等在中のショルダーバッグを引っ張られてひったくられたもの。この際被害者は抵抗を試みたが、犯人に転ばされて擦り傷を負った。

対策：

- ・周囲の状況に気をつけましょう（たまに振り返る等）
- ・大きな荷物は持ち歩かないのがベスト。
- ・たすき掛けは負傷するおそれがあるので、引っ張られないよう紐部分をコートの下等に隠すのがベスト。

#### (3) 11月トゥールーズ発生、カフェ内での置き引き被害

被害者：在留邦人女性

状況：夕刻、在留邦人3名でカフェにいたところ、隣の席に座ってきた2人組の男が隙を見て邦人女性のバッグのジッパーが開けてカード入れを窃取。ジッパーが開いていることを不審に思った被害者の様子に気付き、男1人が逃げるように退店。店員立ち会いでもう1人の持ち物検査をさせてもらってもカード入れは見つからなかった。

可能性：被害者はカフェ入店前にスーパーで買い物をしており、その際カードを使用したことから、犯人に暗証番号を覗き見られその後カフェまで尾行された可能性もある。

対策：

- ・銀行カード等使用時は暗証番号を盗み見られないよう細心の注意を。
- ・不自然に近寄ってくる人間に要注意。財物は常に目の届く場所へ。
- ・被害拡大防止のため、盗難被害に気付いたらカード類は即時凍結。

### 3. 旅行者被害の典型（事前知識があれば防ぐことのできる被害が多い）

#### (1) すり、置き引き

#### (2) 乗車中の車内からのひったくり

特にレンタカー利用者が狙われやすい。空港から市内へ向かう途中の路上や渋滞での信号待ち、車を降りた直後のドアロック解除時を狙って車内に置いてあるバッグを奪われるケースが多発している。

## 身近な被害事例（在留邦人の皆様からの報告）

平成26年1月31日

### 1. 強盗

エクサンプロヴァンス（以下「エクス」）（仏人被害）：けん銃を突きつけられ全裸にされた状態でATMまで連れて行かれ、現金を引き出された仏人男性がいた。

### 2. 侵入窃盗

- （1）マルセイユ（仏人被害）：玄関ベルを鳴らされ、「**Votre voisin!**（あなたの隣人だよ）」と言われたことからドアスコープでの確認を怠りドアを開けたところ、6人の男が侵入し、家の中の物を盗んでいった。
- （2）傾向として、工事が行われている建物内でよく発生している（侵入時に発生する音が目立たないため）。
- （3）マルセイユ：家の天窓から侵入され家の物を盗まれた。天窓からの侵入にはかなりの技術・身体能力が必要なので、本件はプロの仕業とみられる。
- （4）マルセイユ：アパートに作業着を着た集団がやって来て、留守宅で荷物の搬出作業を始めた。隣室の住人が声を掛けたところ、社員証を示して堂々と作業を継続。表には社名の入ったバンまでであった。こうして泥棒らは盗んだものをバンに載せ、堂々と立ち去った。
- （5）マルセイユ：悪天候が続いた後の快晴日、自宅を含め10軒が空き巣被害に遭った。南仏人の心情を理解した犯行手口。自宅は裏のテラスから侵入された。

### 3. ひったくり

- （1）モンペリエ：邦人学生が被害に遭ったことがある。
- （2）エクス：ヴァザレリー美術館前でよく発生する。観光バスの下部側面トランクを無理矢理開けられた事案もある。
- （3）マルセイユ：メトロの駅構内でひったくり未遂に遭った。近くに警備員がいたのに助けられず、自力で犯人を追い払った。

### 4. すり

- （1）ニース周辺：毎年2月のカーニバル時期はすり被害が増える。この時期はすり犯人が大挙してニース入りするという話もある。

### 5. 置き引き

- （1）モンペリエ：公園で乳幼児2人と一緒にいるところを狙われ荷物を盗まれた。当地の泥棒は情け容赦ない。
- （2）マルセイユ：駅で絵はがきを選定中に荷物を股の間に挟んでいた男性、あっという間に盗まれていた。

### 6. 車上ねらい

- （1）マルセイユ：駐車中の車のタイヤにキリで穴を開けられ困っていると、「私が直してあげよう」と男が近づいてきた。隙を見て車内の貴重品を盗む目的だったとみられる。なお、キリでタイヤに穴を開けたのは共犯者とみられる。

### 7. 詐欺盗

- （1）マルセイユ：屋外のATM機で現金を引き出そうとしたところ、後ろから男に叫ばれ、「俺のカードが取り出せなくなったので行員を呼びに行っていたのに、何てことしてくれた！」といちゃもんをつけられた。後で気付いたことだが、声

を掛けられたとき既に現金が排出されており、その金を男に盗られていた。

屋外設置のATM機の使用は危険。また、警察によると防犯カメラのないATM機での引き出しは事後捜査に支障が出るので使用は控えるべきとのこと。

- (2) マルセイユ：路上パーキングの券売機にカードを入れると取り出せなくなってしまうことがある。何者かが仕掛けを施してカードを取れなくし、所有者が諦めて立ち去った後にカードを抜き取り悪用する手口とみられる。ちなみに警察に被害を訴えても実害がなかったことを理由に何の対応もしてくれなかった。

## 8. ストーキング

- (1) エクス：女子留学生につきまとう輩がいる。「(日本人女性名)を知っているよ。」と偽って共通の知人がいるように見せかけ不安を取り除こうとする手口が横行している。このような又聞きの知り合いには要注意。

## 9. 被害対策

- (1) 侵入等対策：警察から「泥棒はプロだ」と諭され、玄関の鍵を2重にし、アラームも付けたら以後泥棒に入られなくなった。泥棒は5分侵入を試みてダメなら諦めて次の標的を探すものらしい(※当館注：日本の泥棒も同じ考えを持っており、「入りにくい家だ」と思わせることが大切です)。
- (2) 滞在許可証はコピーを携帯し、原本は持ち歩かない方がよい。再発行手続きが煩雑だし、日常生活で原本提示を求められることは滅多にない。滞在許可証携帯義務違反に問われた場合、速やかに自宅にある原本を示せば足りる(※当館注：同判断は取締担当官の裁量によると思われるので要注意)。